

## 第2回リデュース部会報告

## 1. 日 時

平成17年10月7日 13時30分～14時50分

## 2. 場 所

塩谷広域行政事務組合 1階大会議室

## 3. 出席者

職 名	氏 名
部会長	(学識経験者) 西谷弘子
委員	(矢板市) 小松高行
	(さくら市) 菊池崇雄 蛭田幸子
	(塩谷町) 松尾享子
	(高根沢町) 君島 毅
	(地元住民代表) 高塩克敏
	(アドバイザー) 今泉繁良
事務局	(日本技術開発) 高橋富男 宮澤俊介

## 4. 議事項目

- ・リデュースについての考え方の整理
- ・取り組んでいる項目の中で浸透していない項目の整理
- ・新たに取り組める項目の検討
- ・その他

## 5. おもな意見

- ・リデュースは、住民や事業者が話し合い、共に活動していくことが必要である。
- ・マイバック運動は、消費者だけでは普及しない。企業と消費者が話し合いながら、進めていく必要がある。
- ・過剰包装を減らしていくためには、私達が従来から持っている意識を変えていく必要がある。
- ・「ごみ」という定義が曖昧である。自分には不必要なものであっても、他人には必要なものであったりするし、地域性などによっても大きく異なってくる。そこで現在、塩谷広域で燃やされているものの中で、何を減らしていくことができるのか、また、何を減らしていかななくてはならないのかを検討していくべきである。